

コスモス

COSMOS GAKUEN

50 号



社会福祉法人
足柄緑の会

編集・発行／コスモス学園

発行日／令和7年3月31日

URL: <https://www.n-csm.jp>

コスモス学園中沼ジョブセンター

コスモス学園中沼ケアセンター

コスモス学園松田センター

コスモスホーム

居宅介護事業所それいゆ

相談支援事業所あすなろ



— 特集 —

◆ 令和6年度 コスモス学園祭 / バス旅行

◆ 令和6年度下半期 各事業所ニュース

◆ 令和6年度 成人式 / SNS委員会より

◆ ロケット教室 / 県西地区文化事業

◆ 職員研修 / 新職員の紹介 /

あのひとこんなひと / 善意



令和6年度 コスモス学園祭

新型コロナウイルスの流行により一般公開が中止となっておりましたコスモス学園祭が、この度6年ぶりに開催されました。

『さいかい(再開・再会)』をテーマに、模擬店やアトラクション共に盛りだくさんの内容で開催されました。

今回の学園祭でも以前出演していただいた時に大好評だった、テレビ出演経験のあるものまねタレントの「あべたけし、さんと」「Mr.にこじや、さん」にお願いしました。利用者のみなさんも知っている人のものまねには一緒に歌ったり、笑ったりと大盛り上がりのステージになりました。

恒例となりました大抽選会では、豪華な景品が当たるか皆さんドキドキしながら自分の名前が呼ばれると声を上げ大喜びされていました。大盛況の中、学園祭は閉会しました。

ボランティアの皆さまや保護者の方々に多大なご協力をいただきありがとうございました。



あべたけしさん



Mr.にこじやさん



利用者バス旅行

一日程

11/8 中沼ケアセンター、松田センター生活介護
11/15 中沼ジョブセンター、松田センター就労継続B型

中沼ケアセンター

今回は久しぶりに県外に足を伸ばし、静岡県御殿場市にある時之栖「麦畑」に出かけました。

当日の天気はとても良かったのですが、御殿場市は標高が少し高いという事も寒い1日でした。

片道1時間ほどの道のりでしたが車中、音楽を流したり、歌をうたったりと楽しく過ごされあつという間の道のりでした。

着いて早々に麦畑のビュッフェでの食事となり、美味しそうな料理がたくさん並び、皆さんワクワクしながら取りに行きますが、皆さん持ってくるのは「唐揚げ!」「ポテト!」そして「肉!!」

グルメな皆さんはお寿司や海鮮丼もしっかり食べて、最後はもちろん甘いデザートで締めていました。

食べるのに夢中になり、最後はおみやげを買う時間が少なくなりましたが、それぞれ良い思い出になったのではないのでしょうか。



松田センター生活介護

今回のバス旅行は御殿場市にある時之栖「麦畑」でのバイキングとなり、久しぶりの遠出に皆さんワクワクされていました。

バス旅行当日は晴天となり、車内から見える景色を眺めながら目的地に向かいました。バスの乗り降りやバイキング会場までの移動はとてもスムーズにできていました。

会場に着くと待ちに待ったバイキング♪盛りだくさんのメニューの中から自分の気持ちとお腹に相談しながら、皆さん思い思いの品をお皿に乗せていきました。中にはお肉をお皿いっぱい山盛りにされている方もいました。

今回は久しぶりの遠出のバス旅行となり、車内での時間やおみやげを買ったりと楽しい時間を過ごせたと思えました。



中沼ジョブセンター

今回の研修旅行は、久々の遠出で川崎方面へ行ってきました。

1か所目は『かわさきエコ暮らし未来館』へ行きました。入り口で「ろじいちゃん」と「のめいちゃん」というマスコットキャラクターに出迎えられ、地球温暖化が起きる仕組みやムダ遣いをなくすための知識を映像やカードを使いながら学びました。

昼食は『カフェ＆ダイニング Feliz 川崎』でシェフお手製のローストビーフを中心に、パスタやピザ、ライスボールなどの料理やスイーツを食べました。



そして最後に川崎の街中をみんなで歩きながら『川崎水族館』へ行きました。ここでは、熱帯魚を中心とした魚や多摩川に生息する生き物の他にイグアナやカピバラ、ナマケモノなどの世界中の生き物も見てきました。ドクターフィッシュ体験コーナーもあり、体験する方もいました。この日はお天気にも恵まれ楽しく過ごすことができました。



松田センター就労継続B型

御殿場市にある時之栖「麦畑」でのバイキングと運営母体であるGKB株式会社の説明を受けるバス旅行を行いました。事前にバイキング料理の写真をみた利用者さん達からは、「お寿司もある!」「デザートもたくさんあるなあ」等、楽しみにされている声がたくさん上がりました。

現地に到着すると早く美味しいものを食べたい気持ちを抑えながら、GKB株式会社の成り立ちや地ビール製造の話を皆さん静かに聞いておられました。話を聞いていた利用者さんの中には、「ビール飲みたくなっちゃった!」と言う方もいました。



そしていよいよお待ちかねの昼食では、サイコロステーキや海鮮など美味しい物がたくさん並んだ中から思い思いの品を満足いくまで楽しまれていました。

そしてバス旅行最後のお楽しみはおみやげです。皆さん自分用ではなくご家族のために土産を買われていたのが印象的でした。

各事業所の ニュース

中沼ジョブセンター

作業では、昨年に引き続き、神奈川県森林再生課よりカスタネットと鳴子の組み立て受注の依頼が入りました。この作業は3年連続でお願いされています。資材のやすりがけ、花紙での梱包、カスタネットに関してはゴム通しと結びを分担しました。2回に分けての納品でしたが、みんなで納期に間に合うように協力して取り組みました。



行事では、12月のクリスマス会、前半は全体作品としてダンボールクリスマスツリーに絵の具で色を塗り、組み立てました。緑と黄緑の絵の具を混ぜて素敵なグラデーションのダンボールツリーが完成しました。このダンボールツリーは毎年活用していけたらと思います。



また、作成したクリスマスツリーに飾るオーナメントを発泡スチロールボールに好きな色や柄のマスキングテープをちぎって貼り、1人1個オリジナル作品を作成しました。

後半は、各作業室の作業の様子や1年間の行事の様子を振り返る動画をみんなで見ながら、お菓子を食べてゆつくりと日頃の労をねぎらいました。動画を通して、他の人の作業の様子や雰囲気を感じることができ、有意義な時間となりました。

2月にはレクリエーションで大井町にあるピオトピアへ行ってきました。ピオトピアでは血圧を測定したり、健康にまつわるクイズやタッチパネルを動かして、地元で採れる野菜のパネルを組み合わせて健康的な料理のレシピを紹介してくれるコーナーに挑戦したり、映像を見ながらラジオ体操、ヨガ、スクワット、ウォーキングなど身体を動かしながら未病について楽しく学んできました。



特に、反復横跳びのコーナーでは挑戦した皆さんがどれだけできるか夢中になり、回数を競っていました。また次年度も皆さんが楽しめる企画を提案していけたらと思います。

中沼ケアセンター

12月20日(金)、クリスマス会を行いました。午前は雪だるまランタン作り！内側を白く塗ったペットボトルに、何種類もの顔のパーツ、リボン、帽子から選び完成させるのですが、口のパーツが眉毛になり、目のパーツがほつぺたになり、「なんか、違う？」と見ていると、何とも個性的な雪だるまが出来上がり、見せ合いながら大笑い。帽子はタワシとしても利用でき、一人の方が毎日コツコツ作られたものです。ご家庭でクリスマスに飾っていただけたでしょうか？



午後は、トナカイケーキを作りました。これもまた「クマ？」と色々な誤算があるのも楽しみの一つです。完成した後は皆さん美味しそうに召し上がりました。

その後、パーティーの隙間に投げられた物を当てるゲームをして盛り上がりました。



2月14日(金)は、レクリエーションとして「COSMOS BURGER」(コスモスバーガー)を開催しました。ファストフード店を真似て、ランチコンマッポ・ポテトの袋などに「口」を印刷したものを用意して、屋根付きの店舗で店長とアルバイトに扮した職員がお迎えしました。



「いらっしゃいませ、ご注文は？」緊張した顔で自作したミニハンバーガーとポテトをトレイに乗せ、職員手作りのジューズサーバーでコックを動かすと、好きなジュースやコーヒールが出てきます。「うわーっ」と思わず歓声が上がりました。

お支払いは能勢所長の顔入り千円札でみんなの笑いを誘いました。



4kgものポテトは、予想より上がるのに時間がかかり、その結果、揚げたてポテトの提供となり普段食が進まない方もきれいに完食されていました。

後日、「次回やりたいお店は？」の問いに、「○○ドーナツ」「ケ○タッキー」「○ドナルド」と止まりません。

さあ、次回は皆さんをどんなお店にご案内しましょうか？職員の腕が鳴ります。次回のレクリエーションもお楽しみに！

松田センター

11月、就労継続B型では赤い羽根の募金活動を行いました。

活動に参加される方を募集すると多くの方が名乗り出て下さり、事業所内を協力のお願いをしながら回って下さり、募金をしてくださいました。「ありがとうございます」と大きな声でお礼を言っていました。

2月14日(金)生活介護ではレクリエーションとして生活介護棟を映画館に仕立て、午前中に映画チケットを入れるお財布を制作し、午後から映画鑑賞を行いました。

午前中は皆さんカラフルな星のシールを貼りながら、個性豊かなお財布を職員と一緒に制作しお互いに見せ合っていました。

また映画鑑賞には欠かせないポップコーンも事前に借りてきたマシンを使いB型の利用者さん協力のもとたくさん作りました。



そして午後からはお待ちかねの映画鑑賞の時間です。コスモス銀行券を使ってチケットを購入しポップコーンやジュースをトレーに乗せて指定された席に着き映画が始まりました。大画面で迫力があり皆さん集中して鑑賞されていました。



就労継続B型では同日、レクリエーションとして午前中は松田町ハーブガーデンで開催されている「まつだ桜まつり」、午後は諏訪野原公園に行きました。

午前は車組と徒歩組に分かれて現地向かいました。ハーブガーデンに着くと残念ながらまだ桜があまり咲いていませんでしたが、お客さんも少ないため、待つことなく空中ブランコで遊んだりすることができ、またジビエや川魚の塩焼き、ソフトクリームなどいろいろな屋台が出ており、皆さん美味しそうに食べられていました。



そして松田センターに戻り、バレンタインの特別メニューの昼食を食べると、今度は車に乗って全員で諏訪野原公園に行きました。パークセンターでのんびりする組とローラーすべり台でアクティブに楽しむ組とに分かれて過ごしました。

普段作業が中心でなかなか外出の機会がなかったため、良い気分転換になったと思います。

コスモスホーム

新型コロナウイルスも年々落ち着きを見せ、コスモスホームでの行事もたくさん行い、地域の行事にも参加する事ができましたので、一部紹介させていただきます。

10月には久々となる屋外でのバーベキューを行いました。コスモスホームの駐車場を利用し会場を作り、所長からの挨拶が終わった後、職員が2つの鉄板で調理を行い各テーブルに振舞いました。

始めは会話が盛り上がりつつあった利用者さんも料理が届くと食べることに集中し、調理が追いつかなくなるほどでした。「料理はどうですか?」と聞くと皆さん美味しいと言っていました。



11月には薬師堂で中沼自治会による文化祭が開催されました。地域の方による出店やキッチンカー、バザーなどがあり盛り上がりを見せていました。コスモスホームも出店させていただき、利用者さん数名を連れてアクセサリー販売や綿菓子の販売を行いました。最初は緊張している様子でしたが、地域の方と触れ合う事で、とても楽しい時間が過ごせました。



同じく11月に避難訓練を行いました。実際に災害が起きていると想定して、ひだまり棟、やまびこ棟、こもれび棟への声かけや誘導を行い、避難場所の確認、避難経路の確認、避難する際の注意点の確認をしました。

避難確認後は消火器の使い方の学びとして、水が入った消火器で放水体験を行い、消火器の動作方法等を確認しました。

12月にはクリスマス&忘年会を開催しました。食事をしながらカラオケやビンゴ大会を行いました。食事では様々な種類の揚げ物や炒め物が大皿に乗っており、職員が手作りしたおにぎりなども用意しました。いつもとは違う食事でも美味しく食べていました。

カラオケは時間の都合上1番のみ歌う形となっていました。カラオケやビンゴ大会は行いましたが、それぞれの方が自慢の十八番を披露してくれました。ビンゴ大会はなかなかビンゴする方が現れず、「リーチが3個もある!」「〇〇番出して!」などの声飛び交い大きな盛り上がりを見せていました。



1月11日(土)、コスモス学園成人式が中沼ジョブセンターと松田センターにてそれぞれ行われました。
今年度は3名の方々が新たに成人の仲間入りをしています。



新成人のみなさま、ならびに
保護者のみなさま、心より
お祝い申し上げます



松田センター

松田センターでは生活介護の柳町卓さんが成人を迎えられ、生活介護棟1階作業室にて成人式を開催しました。

卓さんのスーツ姿がかっこ良く、少し緊張した様子を見せながらも、しっかりと挨拶をされていたのが印象的でした。保護者からは、これからの成長にいろんな思いを寄せながら楽しみにしているなどと語られていました。

コスモス学園に入所され2年目の卓さん、これから自分の好きなものを見つれたり、様々な経験を積みながら自分が思い描く大人になれるよう頑張ってほしいと思います。また生活介護のみんなと一緒にいろいろな日中活動、行事など楽しい時間を過ごしてほしいです。

最後に松田センター生活介護のみんなで記念撮影をして有意義な成人式であったと思います。



中沼ジョブセンター

中沼ジョブセンターでは、小田優希さんと晝岡裕太さんの2名が成人を迎えました。

当日の控室では、入所してから2年間の学園での様子を写真や動画で見てもらいながら式が始まるまでの時間を過ごしました。式が始まる前は「緊張する」と言っていたのですが、先輩の皆さんに拍手で迎えられながら気持ちを引き締めて入場しました。

開始の挨拶ではコスモス会会長中村さん、閉式の挨拶ではコスモス会副会長大石さんがお手本となるような挨拶をしてくださいました。成人を迎えた2人も自分の思いをみんなにしっかりと伝えてくれました。また、中沼ジョブセンター恒例の集合写真タイムでは晴天に恵まれ、今年も良い写真が撮れました。

これからは大人の一員として、2人の更なる活躍を期待しています。



昨年12月、新規採用を目的とした広報活動のひとつとしてSNS委員会が発足しました。

川端総合施設長を総括として、中沼ジョブセンター・金澤、松田センター・北村もえ、総務部・前田の3名で企画運営を行い、3月末より各媒体での動画投稿を開始しています。動画につきましては右のQRコードよりご覧ください。

ご存じのとおりSNSは、職場の雰囲気や情報を、より気軽に身近に不特定多数の方に届けやすい利便性がある一方、危険性もあります。

SNS委員会では、利用者さんが外部に特定されないよう細心の注意を払いつつ、はじめて法人を知った方にも、今現在関わりのある方にも楽しんでもらえるような動画投稿を目指しています。

また、SNS委員会では、動画を観た方が一緒に働きたいと思えるような、よりよい職場づくりを目指しています。職員のモチベーション向上は利用者支援にとって必要不可欠です。職員にとっても利用者にとってもひとつでも笑顔を増やせる活動にしていきたいと思っています。一人でも一緒に働く仲間が増えるよう、委員会一同日々奮闘しています。



SNS委員会より

※ 担当職員より一言 ※

< 川端総合施設長 >
SNSについては委員会メンバーに教わっています。試行錯誤しながらメンバーが作成した動画を観ていただけたら幸いです。

< 金澤 >
動画を通していろいろな方に知ってもらえるように頑張りたいと思います。

< 北村 もえ >
初めての挑戦ですが、皆様のご協力をいただきながら、誰かの目にとまるような動画作り頑張ります！

< 前田 >
他業種から転職してきて福祉の素晴らしさをたくさん知りました。そんな動画をつくりたいです。



みなさまの
「フォロー、いいね、が
チカラになります。
たくさんの登録、お待ち
しております!!



日本で一番ロケットを作っている成形工場



— 南足柄市冬休み寺子屋でロケット教室を開催しました —

1月7日(火)に南足柄市社協が主催している、冬休み寺子屋でロケット教室をコスモス学園が開催しました。この寺子屋とは小学校が長期休みの時期にパン教室や地域企業の見学など応募した小学生を対象に実施されています。

コスモス学園のロケット教室は山北町の川村小学校の6年生児童を対象に卒業前の行事として既に3回開催しており毎年好評を得ておりますが、南足柄市内では初めてとなります。

この教室で使用するロケットは、中沼ジョブセンターの生産事業部で生産し、北海道にある株式会社植松電機にて販売しているプラスチック製モデルロケットα-7型となります。このα-7型ロケットは電気信号でエンジンを着火し時速200キロの早さで約50メートル打ち上がりパラシュートで落下する本物のロケットです。実際に宇宙でも使えます。

このロケットに参加した小学生が一人1機ずつ組み立てて自分の手で打ち上げまで行うのがロケット教室のプログラムとなっています。ロケット教室の開催は、ロケットの組み立てや打ち上げ方法とその意義を植松電機で学んだUEマイスターという資格を所持した団体・個人に限られます。意義とは端的に説明するとロケット教室を単なる科学実験で終わらせるのではなく、この教室を通じて「自分に自信をもってもらいたい」となります。植松電機の植松社長の言葉をお借りすると、人が生きていくのに必要な自信。自信とは自分を信じる心となります。残念ながら今では間違った自信の増やし方をしているケースが多いです。それは比べる自信です。例えば試験の成績であったり100m走の順位であったり。これは必ず比較する相手が存在し競争となります。自分が試験の成績(順位)が良い時、そこには必ず成績が悪く自信を失う他人がいます。逆のパターンもあるでしょう。これでは自信を保つため、常に自分以下を作らなければいけません。これは非常に恐ろしいです。度を越すといじめやパワハラに直結する危険性も秘めています。人と比べる自信は増えたり減ったりする不安定な自信と言わざるを得ません。

ロケット教室を通じて増やす自信はシンプルです。「できなかったことができた！不安だったけどできた！」という経験から生まれる人と比べない自分への自信です。ロケット教室に、殆どの人はワクワクして参加すると思います。みんなでロケットを組み立てるのは楽しいです。しかし自分の作ったロケットが本当に飛ぶのかとなると急に不安になり怖くなります。なぜならコスモス学園の利用者さんが作ったロケットを最初のデモンストレーションで飛ばすとすごい勢いで見事に飛ぶからです。「自分の作ったロケットは飛ばないかもしれない…」不安のあまり自分のロケットの発射ボタンを押すのを怖がる子もいます。でも実際ロケットは飛びます。コスモス学園のロケット教室での打ち上げ成功率は100%なのですから。

自分のロケットが無事大空に打ち上がると、それまで不安そうな顔をしていた子も一気に笑顔になります。そしてパラシュートを開いてゆっくりおりてくるロケットを捕まえようと走り出します。不安を乗り越えて自分で作ったロケットを自分で打ち上げて飛んだ！という経験はきっと自信につながると思います。人と比べない、自分の経験が増え一生減らない本当の自信です。「自信を増やしてほしい」コスモス学園のロケット教室はこのような想いも込めて開催しています。

題目にある「日本で一番ロケットを作っている成形工場」はロケット教室の参加者にコスモス学園を紹介するときの宣伝文句です。市内在住の参加者でもコスモス学園という福祉施設があるのは知っているけど、何をしているかはよく知らない、というのが実情のようです。そんなコスモス学園がロケット教室を開くというのも「なぜ!？」とされているでしょう。説明の中でコスモス学園にはプラスチック成形機があり、作った製品を利用者さんと一緒に作業して様々なお客さんに納入していること、今日組み立てるロケットもコスモス学園で作っていることを伝えると参加者から「おー！すごい！」と反応がもらえます。この反応はいつも私の自信を増やしてくれます。ちなみに昨年度のロケット生産数は約17,000機分でした。



最後になりますが、寺子屋事業にロケット教室を加えてくださった南足柄市社協ボランティアセンター様、当日朝からボランティアとして参加して頂いた中沼地域福祉会並びに和田河原地域福祉会の皆さまには心より感謝申し上げます。至らぬ点多々ございましたが、私共を上手にフォローしていただき、お陰さまで初めての寺子屋ロケット教室を大好評で終えることができました。

(中沼ジョブセンター・生産事業部 池谷公治)

県西地区文化事業

12月7日(土)、第40回県西地区文化事業が小田原市の川東タウンセンターマロニエにて開催されました。

会場では約25の事業所が施設紹介や作品展示、手作り作品等の販売を行っており、事業所関係者、一般の方々含め多くの来場が見られました。

コスモス学園では中沼ジョブセンター、中沼ケアセンター、松田センターから作品の展示とアクセサリ等の販売を行い、たくさんの方が展示を見に来てくださり、交流をしてくださいました。

当日はコスモスホームの利用者さん達もデニーズでの昼食を済ませた後、文化事業に参加し、利用者さん達はステージでの演奏会や弾き語りを聞いたり、買い物をしたり、他事業所の方々との交流をしたりとそれぞれがそれぞれの楽しみ方で過ごしたとても良い時間になりました。



法人職員研修

2月22日(土)に職員研修を実施しました。午前の部は岩原にある「みんなの居場所駄菓子屋まんま遊〜」代表の山崎由恵氏を招き、「自閉症スペクトラムについて」の講習を受けました。

山崎氏は他法人の障害福祉支援施設の職員、職業訓練校の講師などを経て現在は地域の障害福祉に貢献されている方です。自閉症の方の支援については特性や支援の在り方などを説明されて、特に経験年数の少ない職員については大いに参考になったのではないかと思います。



午後の部は「他事業所の支援を知る」というお題を元に4分科会に分かれて、自分の所属以外の事業所の取組などを確認しました。我々法人の最大の強みは、常に事業所間で連携を取り合いながら活動につなげていく点でもあるので、今回の研修で改めて他事業所の深い取組を確認し、さらに連携を深めあい、個々の支援につなげていければと思っています。

新職員紹介

毎日笑顔でがんばっています。
みなさまよろしくお願いします！



せと しげのり
瀬戸 敏彦
中沼ジョブセンター



こしみず たかひろ
小清水 貴英
中沼ジョブセンター



いしい くにあき
石井 邦明
中沼ケアセンター



おおぬき てつお
大貫 鉄男
松田センター



まつしま よしこ
松嶋 好経
松田センター



平成13年9月に旧授産(現在の中沼ジョブセンター)に入職しました。現在は松田センターで支援させていただいております。

趣味という趣味はありませんが、野球が好きで、特に高校野球を見ることが日課になっています。息子が小学校1年生から高校まで野球をやっていましたが、週末の練習試合や公式戦を観戦するのが楽しみで、必ずグラウンドに行っていました。

息子が高校野球を引退した後は穴がポッカリ開いたように何をして過ごそうと考えていましたが、お世話になった高校に後援会役員として残り、現在は監督、コーチ、選手、保護者のサポートをしています。

様々な人と関わることで学ぶことがあり、普段から相手を尊重すること、感謝を持つことなど、生活の中で必要なことだと思っています。私は人と関わるのが大好きで、これからたくさんの人とコミュニケーションを取り、利用者さんと楽しく過ごして支援に活かしていければと思います。



こいずみ ゆうた
小泉 優太
松田センター
副所長



きたむら よしこ
北村 良子
コスモスホーム
支援員

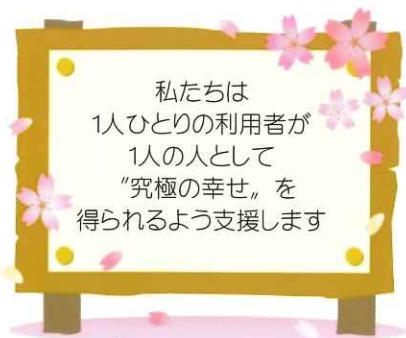
趣味に仕事にがんばっている
2人をご紹介します！

令和5年度まで松田センターに所属していましたが令和6年度からコスモスホームに異動しました。ずっと身長150cmを目標にしていたのですが、今年の健康診断で縮んでしまい残念です。

好きなことはドラマやアニメ、映画鑑賞すること、気が向いた時に絵を描くことです。ドラマやアニメ、映画は、その世界に没入できるので様々な世界を知り、号泣したり、笑ったりストレス発散になります。大食い番組を見ることも好きです。美味しそうに食べているところやいろいろな種類がいつぱいに食べられて羨ましくも思い、つつい見えています。

これからやってみたいことは、寝台列車に乗って旅行にいききたいのと北海道まで新幹線に乗って旅行してみたいです。

そんな私ですが、コスモスホームに異動して新たなスタートをきることができ、新しい出会いがあり日々利用者さんとコミュニケーションをとる中でたくさん元気をいただいております。これからもよろしくお願いします。



皆さまより多くのご寄附をいただきました。
この書面をお借りしましてお礼申し上げます。



社会福祉法人
足柄緑の会

善意 (順不同・敬称略)
富士フィルム労働組合
イトーヨーカ堂労働組合
コスモス後援会
コスモス学園保護者会
林 淳
森内 成典
齋能 通
関野 純一